

地域の安全・安心を守ります



川の氾濫を防ぐ訓練を实践

火災の発生、川の氾濫、崖崩れ…そのようなとき、私たちの先頭に立ち、災害からまちを守ってくれる頼もしい存在、それが「成田市消防団」です。あなたも活動に加わりませんか。

消防団員とは

火災が起きたとき、消防車で駆け付けてくれる消防職員と消防団員。

その違いは何でしょうか。

消防職員は、市の職員で消防の専門職です。

消防団員は、主に地域の人たちで、日頃はそれぞれの職業を持って働いています。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感の下、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。

災害に強い安全なまちづくりを進める上で、地域に密着した消防団員の活動は、重要な役割を担っています。

消防団の構成は

成田市消防団の体制は12分団・97カ部で、構成員は1、422人です。

水槽付き消防ポンプ自動車1台、

消防ポンプ自動車19台、小型動力ポンプ付き積載車77台の消防車両を配備し活動しています(平成28年4月1日現在)。

どんな活動をするの

消防団員の仕事は、災害活動と災害以外の活動に分けられます。その主なものは次の通りです。

災害活動

- 火災の消火活動などの支援
- 火災鎮火後の警戒
- 風水害(台風・集中豪雨・洪水など)の警戒
- 震災時の消火活動、人命救助、避難誘導

災害以外の活動

- 崖崩れ・地滑りなどの警戒
- 火災予防の啓発を通して、地域住民の防火に対する意識を高める

- 火災が多発する時期を重点的に、一年を通して定期的に夜警などの警戒活動を実施する
- 災害の発生に備え、消火活動や

今すぐできる！応急手当を知ろう

市では、心肺蘇生法やAEDの使用法、物を喉に詰まらせたときの対処方法などを学ぶ各種救命講習を定期的に開催しています。日程は広報なりたや警防課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/shobo/kyumeikousyu.html>)でお知らせしますので、ぜひ参加してください。

救急キャンペーン

9月9日(金)は「救急の日」です。市では、9月4日(日)～10日(土)を救急医療週間としています。これに合わせて、市民の皆さんに応急手当の大切さを知ってもらおうと、救急キャンペーンを開催します。

AEDを使った心肺蘇生法の体験のほか、救急資器材・防災資器材の展示や救急隊の活動実演などを行います。

日時＝9月3日(土) 午前10時～午後4時

会場＝イオンモール成田1階ガーデンコート

※くわしくは警防課(☎20-1592)へ。



あなたも心肺蘇生法を学んで

女性団員を新たに募集

成田市消防団では、地域の安全を守る新たな力として、女性消防団員を募集します。

地域のつながりを持ち、地元の情報にくわしく、きめ細かな気配りのできる女性消防団員を採用する動きは、全国的に広まっています。熊本地震や東日本大震災では、避難誘導や避難所での支援活動で、

人命救助の訓練を実施する
○いざというときの出動に備え、
機械・器具を常に万全な状態に
保つよう点検・整備する

多数の女性消防団員が活躍しました。

県内でも柏市、佐倉市、印西市などの消防団で女性消防団員が火災予防や防災教育、応急手当での普及指導などの活動をしています。

あなたの力で地域の安全と安心を守りませんか。団員には活動服などが貸与されるほか、報酬などが支払われます。

応募資格＝市内在住の18～44歳で、
熱意のある健康な人

募集人員＝15人程度

活動内容
○応急手当に関する講習の指導



操法大会で日頃の訓練の成果を披露

○火災予防啓発活動への参加
○大規模災害時の支援活動
応募方法＝消防総務課(☎20・1590)へ
※男性団員も随時募集しています。
くわしくは同課へ。

他市で活躍する女性消防団員に聞きました



佐倉市消防団女性部
こうた
幸田 初美 部長(右)
福田 知子 班長(左)

問1. 入団のきっかけは

消防団員をしている夫に勧められて、平成20年4月の発足当時に入団しました。地域の安全のために頑張る夫の姿を見てきたので、私にもできることがあればと思い、今は夫婦そろって活動しています。(幸田)

子どもの小学校の役員として、応急手当で講習を開いたときに、消防署の職員から勧められました。ちょうどママ友が団員として先に活動していたので、その人から話を聞き、少しでも役に立てるならと入団しました。(福田)

問2. どんな仕事をしていますか

消火活動に当たることはなく、訓練や救命講習の手伝

いのほか、火災予防啓発の一環として、駅前などで火の用心を呼び掛けたり、敬老会などで寸劇や紙芝居をしたりしています。寸劇は、みんなで知恵を出し合い、楽しみながらやっています。(幸田)

問3. 消防団活動と、仕事や家庭との両立は負担になりますか

活動は休みの日や平日の夜がほとんどで、2人とも仕事をしながら参加しています。短時間でできる活動もあるので、子育て中でも両立させることができました。(福田)

問4. 消防団員になって、何か変わったことはありますか

普段は入団前と変わらない生活をしていましたが、地域の防災メールなどはこまめにチェックするようになりました。自身の防災意識も確実に高まっていると思います。(福田)

問5. 消防団の活動でやりがいを感じることはありますか

入団してから「応急手当普及員」の資格を取り、現在は講習をサポートする立場になりました。参加者が技術を習得して帰っていくのを見ると、人の役に立っているのだと実感します。(幸田)